

近隣住民まとめ

まずは、大きな不安やストレスを感じる と考える方が多かった。
近隣の住民という事もあり、①家に帰りたい との意見が多く出た。
次に、②家族の安否/家の被災状況 が気になりだ と考える方が多かった。
また、③震源地や被災状況など、情報を得たい
情報を得るためのツール（スマホなど）の状態を心配する と考える方が多かった。
そして、公園管理事務所へ期待することとして、
④公園内での安全な場所の案内や正確な情報発信
を求められていることがうかがえる結果となった。

施設管理者まとめ

近隣住民と立場が違うためか、家族の安否や自宅の事よりも
①来園者の安否や施設の被災状況 を一番に考えると回答する内容が多かった。
次に、②どのように連絡をとるか？ 情報を得るか？・発信するか？
管理者として行動するための手段や方法について考えるとする内容が多かった。
防災マニュアルや緊急連絡先、被災時の避難誘導や
備蓄品の備えなど、平時から意識づけが大事だ ということが明らかになった。
施設管理者として、しっかりと対応してほしい との思いが結果として現れたと考える。

利用者まとめ

利用者の中には、近隣住民のお散歩利用や大会主催者、施設利用者、観覧をする人など…
県内外を問わず老若男女が想定されることから、様々な意見が出た。
まずは、大きな不安やストレスを感じる と考える方が多かった。
近隣住民からの意見として出た内容と重複する意見が多かった。
①家に帰りたい
②家族の安否/被災状況
③震源地や被災状況など、情報を得たい
情報を得るためのツール（スマホなど）の状態を心配する
一方で、大会主催者の立場での利用者の意見としては、
施設管理者寄りの意見も見受けられ、
④主催者としての判断や施設管理者への確認など、
施設管理者と連携する必要性や、日頃の備えが重要になる
ということがうかがえる結果となった。

行政まとめ

行政の立場では、施設管理者同様に
①人的な被害や施設の被災状況 を把握し、
②連絡手段/情報収集/情報提供 をどのようにするかが一番の課題となった。
また、行政に期待することとして、
③避難場所の開設やボランティアセンターとの連携により
被災時の不安やストレスを最小限に留めるための重要な役割を担ってくれる
と考えていることがうかがえる結果となった。